



東京都  
若者社会参加応援事業  
研究団体



# フリースペース バナナボート

東京都若者社会参加応援事業



働くことや自立に関して、悩みを抱えている若者が、自宅以外に安心できる居場所(フリースペース)です。ご本人も、ご家族の方もまずはご相談ください。

## バナナボートは...

- 「誰にでも、内に秘めた才能やエネルギーは、必ずあります。ただ、本人も、まわりの人も、それに気づいていないだけなのです。それを、みんなで一緒に掘り起こすことができれば、その人は自信を持って自分の道を歩いて行ける。」そう信じて、若者の自立支援を行います。
- 職場・学校・家庭・地域社会などで、疲れ切った心身を休め、生きる力を蓄えたのち、自立して社会に旅立っていくための準備の支援をする居場所づくりを目指しています。
- ご本人も、ご家族の方々も、まず今、出来ることを第一歩に、「開かれた居場所」を目指します。
- 有料の自立支援となります(詳しくは、ご連絡ください)。

## バナナボートの目指す支援

- ご本人が、自分のペースで、自宅以外の安心できる居場所に通えるようになり、その居場所で、学びと自立のための各種活動をしていく中で、自分の存在や生きていくことへの肯定感が生まれます。
- ご家族も、ご本人の今の状況を理解して、適切な対応ができるようになります。
- ご本人も、ご家族の方々も互いに個性を認め、人と人とのふれあいの中で、自分ならではの目標を見つけられるようになります。

## 相談室

ご本人やご家族の方々からの、いろいろな分野のご相談もお待ちしております。「親の資産や年金で、いつまで現在の生活が可能なのか(いくら不足するのか)」「親の相続で、実家の住まいはどうすればよいか。その後の本人の生活はどうしていけばよいか」家族で情報を共有・可視化して、ファイナンシャルプランナー・キャリアコンサルタントの支援員と一緒に、将来に向けての対策(ライフプラン)を立てていきます。



## 対象となる方

- 働くことや自立に関して、悩みを抱えている若者や、そのご家族。
- 東京都内に住所を有する、義務教育終了後の15歳から概ね39歳までの若者やそのご家族。

### ■連絡先

- ・メールアドレス: bananaboat@yamate-fukushi.org
- ・TEL: 070-6439-1450 (月曜日~金曜日 9:00~18:00)
- ・FAX: 03-3989-1128

### ■ホームページ

<http://yamate-fukushi.org/bananaboat/>

### ■施設の開所時間

(月・水・金曜日 13:00~18:00)

### ■住所

東京都豊島区南池袋2-41-12 (1階)

### ○交通アクセス

- \* JR池袋駅から徒歩9分
- \* 東京メトロ有楽町線池袋駅から徒歩1分
- \* 都電荒川線東池袋四丁目駅から徒歩2分



社会福祉法人

# やまて福祉会

豊島区南池袋（池袋駅）

東京都若者社会参加応援事業として実施する  
主な支援・サービスの内容



東京都  
若者社会参加応援事業

- **フリースペース（居場所）【本人】**  
自宅以外の安心できる居場所で、自分のペースで学びと自立のための各種活動をする、そのサポートを行います。
  - **キャリアカウンセリング【本人】**  
本当に自分らしい生き方を一緒に探していくための相談です。
  - **家族カウンセリング【家族・本人】**  
家族に、本人の理解者になっていただき、本人にとって、もっとも望ましい生き方を一緒に探します。
  - **ライフプラン（家計）相談【本人・家族】**  
「親の資産や年金で、いつまで現在の生活が可能なのか（いくら不足するのか）」家族で情報を共有・可視化して、家族一体となって、将来に向けて対策を立てていきます。
  - **エンディングプラン（相続・不動産）相談【本人・家族】**  
「親の相続で、実家の住まいはどうすればよいか。その後の本人の生活はどうしていけばよいか」を、一緒に相談します。
  - **家族会・勉強会・ワークショップ【本人・家族】**
- ☆どんな相談でも、相談料1回3,000円でお受けします。  
相談員は、キャリアコンサルタント・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（CFP）・宅地建物取引士の資格を持ち、ひきこもり相談支援500件以上で、傾聴を大切にしています。

## 活動理念

- 多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的としています。

## その他自主事業・国や自治体との協働例

- 東京都若者総合相談事業、TOKYOチャレンジネット事業、生活困窮者自立支援事業